

～令和7年度ユース審判活動報告～

令和7年度 県下高校サッカー大会 3位決定戦を終えて

レフェリーアカデミーチーフ 白石栄二

「2種委員会の先生方のご協力をいただき、県下高校サッカー大会（男子・女子）の3位決定戦をユース審判員で担当させていただけたことに深く感謝申し上げます。サッカー競技規則の基本的考え方と精神をもとに、「公平・公正」なレフェリングをすること、審判を通して技術だけでなく人間性の成長を目指し、今年度は15名のレフェリーアカデミー受講生で研修を重ねてまいりました。まずは、8人制の1人審判を経験し、プレーを常に良い位置で（いつ、どこで、どのように）、1人で監視することの難しさを体感することで、11人制の審判に活かしていく活動を行いました。レフェリーアカデミーの研修に、ご理解とご協力いただいたチーム関係者や、大会関係者の皆様にお礼を申し上げます。学業と部活動の両立や審判活動の機会をつくり出したユース審判員とともに、保護者の方々には遠方までの送迎や審判活動へのご理解に感謝いたします。今後とも、ユース審判員がよりよいレフリングができるよう指導していきたいと思っております。」

○男子 3位決定戦 @えがお健康スタジアム（R08.02.01）

熊本商業 5-0 慶誠

主審 福田 剛大（鎮西高2年）

「この度は、県下高校サッカー大会 3位決定戦をユース審判でさせて頂きありがとうございます。今回の試合を通して、マネジメントの部分やファールの基準についての難しさに、改めて再認識させられるようなゲームだったと思います。年末には全日本U-12サッカー選手権大会に派遣させていただきましたが、体調不良により帰宅を余儀なくされ、審判を担当することができなかつたことに心残りがありました。そんな中でも、このような舞台で主審をさせてもらいま大変嬉しく思います。今後もまだ審判活動は続きますので、様々な研修を通してレベルアップしていきたいと思っております。」

副審1 森 悠斗（有明高3年）

「今回、3位決定戦という素晴らしい機会をありがとうございました。素晴らしいスタジアムで緊張感や特別な雰囲気を感じることができました。私自身、緊張していましたが、審判団で協力しながら自信を持ってジャッジし、円滑に試合を進めることが出来たのではないかと思います。これまで審判活動において、監督や選手のご理解とご協力、またインストラクターのご指導があったからこそ今日の舞台に立つことが出来たと思います。本当に感謝いたします。今日の経験を今後の審判活動に活かしていきたいと思っております。」

副審2 高松 海月（玉名工業高1年）

「今回は、3位決定戦という素晴らしい機会を与えてくださり、ありがとうございました。今回の試合では、審判として緊張感を持って試合に入れたのではないかと思います。また審判団とのコミュニケーションもしっかり取り、円滑に試合を進めることが出来ました。試合後の反省会で出た課題を意識しながら、今後の審判活動に活かしていきたいです。」

第4の審判 山本 涼平（熊本農業高3年）

「今回、県下大会大会の3位決定戦という舞台上で審判させていただきありがとうございます。このような大きな大会やスタジアムで審判をすることは、とても緊張しました。今回は、第4審判をさせていただき、試合を支えることが出来るように頑張りました。選手交代や負傷選手のピッチ復帰などとてもスムーズに行うことができとても良かったと思います。インストラクターの方からベンチコントロールについて指導を受けたので、今後の審判活動に活かしていきたいと思います。」



○女子 3 位決定戦 @益城町総合運動公園（R08. 01. 31）

慶誠 2-0 球磨中央

主審 織方 麻優子（真和高2年）

「今回、女子の県下大会 3 位決定戦の主審を担うという貴重な経験をさせて頂き、関係者の皆様には深く感謝しています。また、私はまだまだ未熟でありベストなレフェリングだったとは到底言えませんが、私のレフェリングを信じて一緒にゲームを作り上げてくれたユース審判の仲間には、心から感謝の気持ちを伝えたいです。そして、今回初めて女子ユース審判 3 人で試合を仕切らせて頂いたという事で、このような素晴らしい機会に私自身が 1 つのピースとして関わる事が出来たことを光栄に感じています。この約 1 年間、審判活動を続けてきましたが、嬉しいことばかりではなく、自分がサッカーに関わっている時間が他の審判と比べてどれほど少ないかを痛感し、自分の不甲斐なさに押し潰されそうになる場面もありました。それでも、そんな時に支えてくれたのはユース審判の仲間であり、彼らの存在には本当に救われました。来年度は大学受験もあり多忙を極めるとは思いますが、これからも審判活動と学業の両立に力を注ぐ覚悟です。今後も審判活動を通して出会う全ての方々、ユース審判仲間、指導者の皆様とのご縁を大切にしながら、努力を重ねていきます。この度は本当にありがとうございました。」

副審1 稲葉 真央（熊本農業高2年）

「今回、県下大会女子の 3 位決定戦という素晴らしい機会を担当させて頂き、ありがとうございました。女子の試合を私含む女子 3 人で審判出来たことはとても貴重な体験でした。自信を持って判定したり、ゴールライン上まで走り、ゴールキックなどの判定をしたりすることが出来たので良かったです。オフサイドのフラッグアップのタイミングやサイドステップの使い方を指導していただいたので、今後の審判活動に活かしていきたいと思えます。」

副審2 簗田 ひまり（人吉高1年）

「今回、県下大会の 3 位決定戦という素晴らしい機会をいただきありがとうございました。試合を自分たちですすめることの大変さや責任感をすごく感じる事ができました。今回の試合では開始時間が遅れてしまったことが一番の反省点です。また、インストラクターの方にはサイドステップの使い方や、旗をあげるときの姿勢など細かいところのアドバイスを受け、とても良い機会となりました。今回の反省点やインストラクターの方に教えてもらったことをこれからの審判活動に活かしていきたいです。」

第 4 の審判 高松 海月（玉名工業高1年）※上記の記載のため、コメントは割愛させていただきます。

